

日本語教育能力検定試験 対策セミナー2014

「合格を導く半魚人」

担当 福地俊夫

- 0 アンケート・学習工夫の共有化
- I 試験の概略
- II 過去のこんな発言
- III 個人差の激しさ
- IV 相手を知ること・自分を知ること
- V 学習ストラテジー 一般論
- VI 学習ストラテジー 具体論

0 アンケート・学習工夫の共有化

I 試験の概略 (→資料)

- 1 日本語教育業界にいる限り、検定合格はプラスにしか評価されない。
- 2 23年試験内容改定 (←日本語教育の現場は一層の多様化、細分化)
 - ①基礎項目が中心
 - ②記述問題変更
 - 「言語にかかわる事象」や「教育実践の方法・内容」などに対する考えや主張を問う (400字)。その伝え方を論理性と日本語力の面から測る。
 - 「ニーズ・レディネスに応じた教え方」「日本語の乱れ」「バイト語」「地域方言」「漢字数の制限」など。
- 3 当日の工夫
 - ・マークシート用に丸まった鉛筆
 - ・低反発座布団
 - ・腕時計 (置時計不可)
 - ・ウェットティッシュ
 - ・ショール (体温調整のため)
 - ・耳栓 (でも注意!!!)
 - ・試験場への道順・経路

- ・昼食準備
- ・トイレ（待っているときに勉強）
- ・聴解試験中の雑音問題
- ・願書の顔写真
- ・どの問題から始めるか、時間配分

4 ごく一般的な学習スケジュール

過去問（6月）→基本用語・全体像確認（7月）→聴解対策（8月）→苦手分野克服（9月）→記述対策・解答時間意識・暗記モノ（10月）

※『完全攻略ガイド』「確認問題」（一問一答形式）から始めてみる→分からないときにその部分を読み込むか、用語集を確認。その次に過去問など。

II 過去のこんな発言

（試験前）

「自分は頭が悪いから。」

「自分は記憶力がないから。」

「自分は仕事や家庭があって時間がないから。」

言い訳に根拠はあるのか！ 事実であれば事実を甘受せよ！

われわれの仕事は「努力」に価値を見出す仕事だ！

（試験後）

「勉強して損しました。」

「先生が出ると言ったところは出ませんでした。」

驚きと感動を忘れるな！ 学びに無駄はない！ 一生記憶に残る学習を！

III 個人差の激しさ

1 以下のキーワードを説明できますか？

破擦音／軟口蓋／プロミネンス／屈折語／発話媒介行為／メトニミー／クレオール／パラ言語／高コンテクスト文化／中間言語／CALP／JSP／機能シラバス／スキヤニング／ポートフォリオ／形成的評価／無意志動詞／瞬間動詞／モダリティー／呉音／

2 試験まで何日？

3 試験まで_____？

IV 相手を知ること・自分を知ること

1 問題解決の手法

試験の特徴を知ること、自分の得意・不得意、好き・嫌いを知ること。

特徴→広い範囲・高い合格点・長い試験時間・聴解形式・記述形式.....

2 過去問

まずゴールを知ること、そしてゴールから今の自分の位置を捉える。道の長さ・険しさを
知ること。

試しに合格体験記を書いてみる。

3 重点科目

「日本語教育概論」「音声学」「文法」など

4 メタ認知能力

自分が用いる方法がどのような問題解決の時に、最も効果的なのかを知っている／自分がどの程度よく理解できているかについてうまく判断できる／問題が解けた時、自分がどのような方法を用いたか分かっている／問題に取り組んでいる時に、うまくいっているかどうか、定期的に自分でチェックしている／勉強したり課題を行ったりする時には、計画を立てる／考えが混乱した時には、立ち止まり、もとに戻って考えてみる→学習日誌の活用

V 学習ストラテジー 一般論

1 手っ取り早く楽に合格する方法はあるか。

「効率的」な努力は可能か？

2 形から入る (= 「みえる化」)

願書をいつ出すのか。

教室でどこに座るか

信号待ちで何をするか。

思考は行動を変えない。行動・環境が思考を変える。

3 バランス感覚

① 全体 ←————→ 部分

② とにかく丸暗記 ←————→ 100%の理解

③ 得意科目 ←————→ 苦手科目

④ 完全独学 ←————→ 講師に頼りっぱなし

⑤ ひたすら読み込み ←————→ 全部ノートにまとめないと気が済まない

4 アウトプットの重視 (外国語学習と同じ)

大声を出して読む！ 自分の手で書いてみる！ (箇条書き・マインドマップ)

脳の働きが全く異なる。

「攻める勉強方法」だから、眠くならない。

5 電子機器の有効利用

タイマー・ストップウォッチ

Anki (記憶カードアプリ)

フリーマインド (マインドマップ作成アプリ)

ボイスレコーダー (聴解対策・記憶)

VI 学習ストラテジー 具体論

1 授業の理解と資料の整理

今の授業中に完全に理解する。

新しいものに手を出さない。何をすべきかよりも、「何をしないか」。

2 動機

今日勉強しない人は明日も絶対に勉強しない。しかし「意志が弱い」だけでは解決し

ない。

動機が高いときに、動機が低まったときの対策を。

日本語教育から離れない工夫（→興味が持てる関連書など）。

3 理解

わかった気にならないために。

何が、なぜ、わからないのか、いつまでに、何を、どうすれば、わかるようになるか。

本当にわかったのか試す方法→他者に説明できるか自問自答してみる。具体例を挙げられるか。

4 記憶

断片的な知識の暗記ではなく、「自分にとっての意味」と「相互の関連性」を意識すること。→「今学習していることは自分にとってどんな意味があるのか」「今学習していることは今まで学習した何と関連づいているのか」

一つのキーワードに複数のキーワードを関連づけてみる。

「暗記カードの作成行為で、半分は自然と頭に残る。」

5 環境

どこで学習するのか。一人暮らしでも外で学習。

現代人の三大浪費行動はテレビ・飲み会・ネットサーフィン！

6 苦手科目の克服

なぜ苦手なのか、理由を 20 挙げてみる（食わず嫌いなだけ?!）。

5 語～10 語のキーワードを完全に理解して他人に説明できるように。

大声で読んでみる。苦手箇所を書いてまとめてみる（→弱点ノート作成）。

補講用 DVD を何度も視聴する。

7 聴解試験対策

本当に時間と労力をかけているか。調音点・調音法の記憶。

「本気で取り組んでみたら、得意になっちゃった」。

自分で発音してみる。自分の口はいつでも使える最良の実験道具。

アクセントは「ド・ミ」で。

「唇（両唇）は死刑（歯茎）、死刑（歯茎硬口蓋）は高校（硬口蓋）で難航（軟口蓋）、正門（声門）で執行」。

「摩（摩擦音）擦（破擦音）は（破裂音）、鼻（鼻音）で弾（弾き音）く半（半母音）魚人」。

「加賀は (カガワ) 難攻 (軟口蓋)」「火矢 (ヒヤ) で後攻 (硬口蓋)」「サザ (ン) 只 (タダ) ナラ死刑 (齒莖)」。

8 記述試験対策

自分の手で書いてみて、自分の手で直すこと。

自己主張ではなく、マニュアル・報告書・手続きの説明のイメージを持つ。

文章構成・使うべき表現の重視。

バランス (メリット・デメリット)、学習レベルの場合分け。

9 検定関連講座の受け方

受ければ受けた分だけ必ず合格に近づく。

受けるか受けないかできるだけ早く決断せよ！

総括的学習。絶対に欠席するな！

未習科目は「科目別セミナー」・補講用 DVD。

●参考図書等

ヒューマンオリジナル解答解説集 (過去 3 年間)

『日本語教育能力検定試験 完全攻略ガイド第 3 版』ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験用語集』ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験に合格するための用語集』岩田一成他 アルク

『平成 25 年度日本語教育能力検定試験 試験問題』凡人社 (平成 15 年度以前のは桐原書店発行)

『日本語教育能力検定試験 合格するための本 2012 年度版』アルク

『勉強法が変わる本』市川伸一 岩波ジュニア新書

『学ぶ意欲の心理学』市川伸一 PHP 新書

『学習と教育の心理学』市川伸一 岩波書店

『「わかり方」の探求』佐伯胖 小学館
『最強の勉強法』吉田たかよし PHP 文庫
『「いつも忙しい」がなくなる心の習慣』水島広子 すばる舎
『のうだま やる気のコツ』上大岡トメ 池谷裕二 幻冬舎
『キッパリ！たった5分で自分を変える方法』上大岡トメ 幻冬舎
『先送りせず、すぐやる人になる方法』佐々木正悟 中経出版
『日本人の知らない日本語』蛇蔵 海野凧子 メディアファクトリー
『もしも・・・あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』荒川洋平 スリーエーネットワーク
『日本語教育能力検定試験 音声パーフェクト対策』猪塚元 猪塚恵美子 アルク

●担当教師（質問はいつでも受け付けます。）

福地俊夫

E-mail : fuku@aaa.email.ne.jp

URL : <http://www.asahi-net.or.jp/~yh8t-fkc/>

（「福地俊夫」で検索すればどこの検索エンジンでも探せます）